

こんにちは!!

市長です

Vol.33

「七夕まつり」

り付けました。また、市内の保育園、幼稚園の子どもたちの七夕飾りも駅前通りに飾られました。

私が子どもの頃は、一月遅れで8月7日に飾り付けたので、七夕は夏休み中の楽しみの一つでした。赤・青・黄・緑の色の短冊に、いろいろな願い事を書いて玄関前に飾り、終わると近くの沢に流しました。

今回、駅前通りの街路樹に飾られた竹には、「早くコロナがなくなつて、パパとママとディズニールランドに行けますように」、「消防士さんになれますように」、「一輪車に乗れるようになりたいように」、「ママを抱きしめられるくらい大きくになりたい」などのたくさんの願い事が書かれた短冊がくくり付けられていました。私は、「全ての市民が幸せに暮らせますように」と短冊に願いを込めました。

七夕飾りを見て、『おとなは、だれも、はじめは子どもだった。(しかし、そのことを忘れずにいるおとなは、あまりいない)』と書かれたサンテグジュペリ作の物語「星の王子さま」の前書きの一文を思い出しました。

純真な子どもたちのために、コロナが収束して、平和な社会が訪れますように…。

7月5日、渋川駅前広場で行われた、渋川青年会議所主催による、「七夕事業く天まで届け！七夕の願いー」のオープニングセレモニーに参加しました。

セレモニーでは、青年会議所の皆さんと一緒に、願い事を書いた短冊を竹の枝にくく



▶短冊に願いを込めて